



## 巻頭言

臨床病理診断科 診療科長 /

くしま みき  
九島 巳樹

昭和医科大学江東豊洲病院の(臨床)病理診断科の医師が患者さんを直接診察する事はないのですが、病院内に病理医がいることをご存じでしょうか。当院では外来、病棟や手術室などで診療科において採取された細胞、あるいは内視鏡検査や手術などで摘出された組織・臓器は病理検査室に提出され、病理診断用のガラス標本が作製されます。病理診断科は完成した病理標本を専門の病理医が顕微鏡で観察して、治療に必要な最終診断(病理組織診断)を行う臨床系の一部門です。また、婦人科領域、喀痰などの塗抹検体や胸・腹水、脳脊髄液、尿などの液状検体、その他の穿刺吸引検体を用いて細胞標本を作製し、顕微鏡で観察して良悪性の判定(細胞診)も行っています。例えば、臨床医(主治医)が胃の内視鏡検査をし、何らかの病変が見つかった場合、その一部を採取します。病理診断科では、その検体から臨床検査技師がガラス標本(プレパラート)を作り、病理医が顕微鏡で観察して病理診断をします。主治医は電子カルテ状に送信された病理診断に基づいて治療方針を決定するのです。



手術時に行われる術中迅速診断では、手術中に採取された病変組織や切除断端・転移が疑われる部分などについて、凍結切片の方法で標本を作り、病理検査室に検体が到着後約15分程度で病理医が担当医に診断結果を伝達して、手術方針やその後の治療方法の決定に関与しています。迅速に正確な病理診断をするため、病理専門医および細胞診専門医を含む常勤病理医(4名:九島巳樹特任教授、南雲佑講師、池田宏美助教、高野弓加助教)、非常勤病理医(5名:河野葉子客員教授、飯原久仁子客員教授、岡田真也客員教授、秋田英貴兼任講師、広田由子兼任講師)が細胞検査士(3名)を含む臨床検査技師と共に働いています。

病理診断科の医師(病理医)は、患者さんとは主治医を介して病気の診断や治療方針の決定、予後の推定などに関する情報を迅速に提供することで深く関わっています。常に患者さんの状態を考えながら、正しい医療が行われるように臨床の現場に有用な意見を述べ、診療や看護の結果を検証し、常に医療の質の向上に努めています。



臨床病理診断科  
カンファレンス(左)  
集合写真(右)  
(写真(左)  
右列手前から2番目、  
写真(右)  
前列右側  
九島診療科長)



### 第136号のトピックス

- ・巻頭言(臨床病理診断科)
- ・第20回公開講座動画公開のお知らせ
- ・江東区立豊洲図書館 図書コーナーの設置について
- ・当院行事食のご紹介
- ・セタイブントの開催報告①
- ・セタイブントの開催報告②
- ・ご意見・ご要望
- ・編集後記

## 第20回公開講座動画公開のお知らせ

6月7日（土）に当院で開催した、「第20回公開講座 暮らしと健康 おしりと骨盤の異変に気付く！正しい知識と最新治療—骨盤臓器脱（子宮脱）と脱肛（内痔核）を中心に—」の講座内容を、当院ホームページにて8月4日（月）～9月29日（月）の期間限定で公開しています。ぜひご覧ください。

『おしりと骨盤の異変に気付く！正しい知識と最新治療—骨盤臓器脱（子宮脱）と脱肛（内痔核）を中心に—』

演題：「骨盤臓器脱の最新治療—身体に優しい低侵襲手術を目指して—」

演者：昭和医科大学江東豊洲病院 産婦人科 准教授  
石川 哲也（いしかわ てつや）

演題：「お尻から何か出る！？—脱肛・直腸脱の正体と対策—」

演者：昭和医科大学江東豊洲病院 消化器外科 助教  
田邊 太郎（たなべ たろう）



こちらのQRコードからも  
ご利用いただけます



URL) <https://x.gd/ROgsu>

## Report

### 江東区立豊洲図書館 図書コーナーの設置について

江東区立豊洲図書館と連携し、当院医師・看護師等からの推薦図書を配架する特設コーナーを館内に設置していただいています。

休館日：毎月第3金曜日

貸出カードの発行には身分証が必要です。

本は20冊まで貸出できます。

貸出期間は2週間です。

公式X (@kotolib\_toyosu) で図書館情報を発信中です♪

江東区立豊洲図書館

〒135-0061

東京都江東区豊洲 2-2-18

豊洲シビックセンター9階～11階

TEL：03-3536-5931



イメージキャラクター  
「とよとら」



6月7日（土）開催の公開講座に関連した書籍を設置していただきました！

# Pick up

## 当院行事食のご紹介

当院で提供している食事は、患者さんに必要な栄養が過不足なく摂取できるように計算された食事とし、季節ごとの行事やお祝いの日、お祭りの日に食べる特別な料理である「行事食」を定期的に提供しています。7月は「七夕」の行事食を提供しました。



今年度の行事食

- 七夕献立
- ・冷やし中華
  - ・春巻き揚げ
  - ・ミルクプリン



# Report

## 七夕イベントの開催報告①

こどもセンターでは、こどもにかかわるスタッフとみんなで、病気やけがで入院しているこどもたちが闘病意欲を持てたり、少しでも楽しい気持ちで入院生活を送れるように季節のイベントを行っています。

病棟内でも季節を感じられるよう、今年度の七夕イベントではセンター内に笹の設置と夏祭りをイメージした飾りつけを行いました。笹はこどもたちと病棟スタッフの作成した短冊や笹飾りで彩られ、病棟内に和やかな雰囲気広がりました。



NICU 内の七夕と夏祭りをイメージした飾りつけ



こどもセンター内の笹飾り

## 七夕イベントの開催報告②

七夕という行事を通じて、院内生活を送られている方をはじめ、当院を利用される方に季節感を感じていただきたく、笹飾りの設置を行っています。

患者さんやご家族のみなさまから色とりどりの短冊が寄せられ、6月27日から7月7日までの設置期間で合計568枚の短冊が飾られました。

たくさんの願い事をお寄せいただきありがとうございました。



### ご意見・ご要望

ご意見	回答
<p>先日、MRI 検査を受けました。 検査についての説明が少し分かりづらく感じる箇所がありました。また、説明の伝え方が少し曖昧な部分がありました。 検査が終了した後、起き上がるように説明があったのですが、ヘッドフォンの着脱の指示がなかったため、起き上がるできませんでした。 病院の評価は、小さな気づかいの積み重ねだと思います。</p>	<p>この度は MRI 検査の際に不快な思いをさせてしまい、大変申し訳ありませんでした。 患者さんに対する配慮に関して至らぬ点があり、深く反省しております。 今後は患者さんの気持ちに寄り添った対応ができるよう接遇向上に努めます。 貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">回答部署：放射線技術部</p>

編

集

後

記

梅雨の合間に覗く青空に、夏の気配を感じる季節となりました。今号もお読みいただき、誠にありがとうございました。日々進歩する医療の現場で、患者さん一人ひとりに寄り添いながら懸命に取り組むスタッフの姿を、少しでも多くの方に届けたいという思いで、本誌を制作しております。取材や原稿作成にご協力くださった皆さまには、心より御礼申し上げます。

本誌が、病院の取り組みや雰囲気を感じていただける一助となり、より安心してご来院いただけるきっかけとなれば幸いです。今後も地域の皆さまと病院をつなぐ情報発信の場として、より一層内容の充実を図ってまいります。

引き続きのご愛読と、温かいご意見・ご感想をお寄せいただけますと幸いです。

リウマチ・膠原病内科 / しみず くにか  
清水 国香



昭和医科大学  
SHOWA Medical University

昭和医科大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>

〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38

TEL03-6204-6000(代表)

発行責任者：横山 登 編集責任者：大槻 克文



昭和医科大学江東豊洲病院  
ホームページ